



## 晴れた日には 出かけよう!

# まちのミリョクを再発見!!

## ⑱ 水口の山神社

みくのち さんじんしゃ  
大久野の水口に「山神社」という古いお社があります。

**山**神社は、北大久野川の中流域、水口地区の小高い山の上にあります。その本殿は「山祇社本殿（水口の山祇社本殿）」として昭和53年に町の有形文化財（建造物）に指定されました。

山祇社とも呼ばれる山神社は、山の神である大山祇命を祀った神社で、日の出町では新井白山神社・坂本神明社と並んで創建年代が古い神社です。大山祇命とは日本中の山を管理する総責任者にあたる神様ですが、山は水源やひいては田の稔りにも影響するので、地域によっては水の神や田の神としても信仰されています。当地の山神社は、建立以来、水口・長井の人々に産土さまとして親しまれています。（産土さまというのはその土地の鎮守として人々の暮らしを見守る神さまのことを言います）

さて、その起源は弘仁14年(823)まで遡り、流星が水口の山中に落下したときに川上隼太盛重が神託を受けて建立されたと言われています。このときの流星は「月星石」といわれ現在まで語り継がれています。やがて天正7年(1579)になると、長井寺の住僧が夢の中で「越前国永平寺の鎮守白山権現をここに祀りなさい」というお告げを受けて、相殿に白山権現を合祀したそうです。

本殿は、元禄13年(1700)に類焼した際に再建されたもので、寛延3年(1750)には覆屋が復元建立されています。相殿に白山権現を合祀しているために二間社の流造りになっているようです。また、二間社造りの本殿というのは都内でも珍しく、他にも梁や柱などに特徴的な意匠がみられます。保存状態も極めて良好で、学術的な価値も高い建造物といえます。建物は長井と水口の有志による奉賛会によって大切に管理されています。



山神社を守るように、狛犬が睨みをきかせています。

現在、境内には南向きに拝殿や幣殿、本殿覆屋が建っていて、その西側には末社の神明社と熊野社が祀られています。小高い山の上に通っているため、下界の喧騒がうそのように静かで、とても厳かな雰囲気漂っています。また、山の中腹にある鳥居をくぐると視界がひらけ、水口から坊平、落合方面を見渡せます。

毎年4月29日、山神社では産土さまのお祭りが行われます。このお祭りでは、町の無形民俗文化財に指定されている長井神田磯子の奉納も行われます。



◀山神社への行き方  
秋川街道「坂本交差点」から梅ヶ谷峠方面へ徒歩20分、大久野病院入口を右折し左手の山頂です。

問 総務課 広聴広報係 内線 306



入選作「広報日の出21年11月号・表紙」

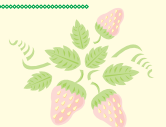
## 広報日の出21年11月号の表紙が、 東京都広報コンクール「写真の部」で最優秀賞を受賞しました!

受賞写真は、昨年10月に塩田「観光いも掘り農園」で、大喜びでおいも掘りをする日の出幼稚園の子どもたちを納めた1枚です。

大切なおいもを傷つけないよう、ゆっくりと慎重に掘り下げてゆく姿。そして大きなおいもを手にした時の愛らしい笑顔がとても印象的でした。

電話で、今回の受賞について伝えられ、全国コンクールへ推薦される事を聞いたとき、広報制作に携わる担当者として大いに感動し、そして日々広報活動にご理解ご協力を頂いている町民の皆さんに心から感謝! そのひと言でありました。

写真は、様々な状況を直感的に読み手に伝える最良の手段だと考えています。これからも、町民の皆さんに親しまれる広報紙を目指し、全力で広報活動に取り組んでまいります。



問 総務課 広聴広報係 内線 306